

平成29年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

	項目	目標	実施結果と目標の達成状況
1	教育公務員としての倫理意識の徹底及び法令遵守意識の向上	「神奈川県職員行動指針」を踏まえ、職員の綱紀保持と服務規律の確保に向けて、公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守の意識と公私を問わず高い倫理観を持って職務を円る。	通知や新聞記事など不祥事の事例を踏まえながら、朝の打合せで迅速に周知し、また事故防止会議、事故防止研修など様々な機会を捉えて、校長・副校長・教頭・総括教諭等が資料を作成あるいは不祥事防止職員啓発資料を活用して、公務員としての自覚・モラルの向上等を図った。
2	セクハラ、わいせつ行為の防止	生徒に対するセクハラ、わいせつ行為、職員間における迷惑行為の根絶を目指す。	全教職員を対象にした事故防止会議を実施し、職員の意識向上を図った。スクール・セクハラは重大な人権侵害にあたる行為であるという意識を高めるとともに、日頃から自らの言葉や行動に注意する態度を身につけ、人権感覚を磨いた。 教職員間の報告・連絡・相談が円滑に行われ、どんなことでも相談できる風通しの良い職場づくりに努めた。
3	体罰・不適切指導の防止	体罰は生徒の人権を損ない、生徒と教職員との信頼関係を根底から崩すものであるという意識を、職場全体に浸透させ、体罰や不適切指導の未然防止と根絶を目指す。 常に人権に配慮した言動を心がけ、相手の立場や人格を尊重するよう努める。	新聞記事・不祥事防止職員啓発資料を活用し、朝の打合せ、事故防止会議等で倫理意識の向上を図り、保護者・地域からの電話対応についても注意を喚起した。 相談窓口の周知、ケース会議の開催等により、生徒の相談体制を整備し、人権に配慮して支援に当たった。
4	成績処理・進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	定期試験等において、監督者心得・環境整備・問題管理など注意点を徹底する。 成績処理に係る業務遂行及び点検マニュアル等により、手順及び注意点を周知徹底するとともに、複数による業務遂行と複数によるチェック体制を徹底する。	定期試験等において、監督者心得・環境整備・問題管理など注意点を徹底する。 成績処理に係る業務遂行及び点検マニュアル等により、手順及び注意点を周知徹底するとともに、複数による業務遂行と複数によるチェック体制を徹底する。 調査書作成に係る業務遂行及び点検マニュアル等により、調査書作成・指定校推薦等の校内選考・進路関係書類等に係る手順や注意点を周知徹底するとともに、複数による業務遂行と複数によるチェック体制を徹底する。

平成29年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	<p>職員啓発資料やチェックリストを活用し、全教職員を対象とした事故防止会議を実施し、情報管理について意識向上を図るとともに、適切な運用を徹底する。</p> <p>個人情報の登録・持ち出しは、必ず校長の許可を受けた上で行い、副校長、教頭は、文書やUSB管理・直帰について常に職員の注意を喚起する。</p> <p>成績処理、調査書作成、進路指導、奨学金等の各種業務において生徒のプライバシーに配慮した相談を実施する。</p> <p>成績・進路・奨学金等個人宛文書など各種書類・データの管理には充分注意を払い、机上やプリントアウトした個人情報、同姓の生徒の有無、文書と封筒の宛先の一致などを、複数の職員で確認し、紛失・誤廃棄・誤配付・ご配送を防止した。</p> <p>HP等の広報活動において個人情報・著作権に十分配慮した。</p> <p>携帯電話、電子メールの不適切に使用しないよう徹底し、携帯電話にはパスワードを設定した。</p>	<p>朝の打合せ、事故防止会議、研修等で、新聞記事及び不祥事防止職員啓発資料を活用し、個人情報の登録・持ち出し、USB貸出しに係る手続きと情報管理について周知し、個人情報管理簿等により徹底を図った。</p> <p>職員及び部活動インストラクターの不適切な携帯電話・電子メールの使用についても注意を喚起し、所定の手続き及びパスワード設定を徹底した。</p>
6	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止と交通法規の遵守	<p>交通マナーの遵守を徹底し、交通事故、酒酔い・酒気帯び運転など交通違反を未然に防止する。</p>	<p>安全運転の励行、飲酒した翌日の運転、交通法規の遵守について、朝の打合せや事故防止研修など様々な機会を捉えて、職員全体に常に注意を喚起した。</p> <p>交通事故に関する「ヒヤリハット事例」などを活用し、全教職員を対象とした事故防止会議を実施した。</p>
7	会計事務などの適正執行	<p>計画的な物品等の発注、適正な執行、確実な納品確認を徹底する。</p> <p>部活動会計は、徴収・決算報告通知、出納簿の整備、高額物品購入の際の見積り合わせの実施等、「私費会計事務処理の手引」に準じた処理を行う。</p> <p>校長・副校長・教頭・事務長は、私費会計について、会計処理や諸帳簿の適正執行等に関する調査を年に複数回、定期的実施する。また監査結果を受けて、改善すべき点がある場合には、迅速に対応する。</p>	<p>平成26年度から導入した部活動会計の統一帳票等を活用し、私費会計基準に準じて処理するよう改善を図るとともに、PTA会計監査の実施、管理職・事務長の定期的な諸帳簿点検を行い、適正な執行を徹底したので、財務事務調査で高評価を得た。</p> <p>管理運営グループリーダーが、朝の打合せや私費会計研修、事故防止研修等で、会計処理について周知を図った。</p>

平成29年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

		<p>校長・副校長・教頭・事務長は、毎年度末に私費執行状況の最終調査を行うとともに、来年度の予算案や会計処理上の指導を実施し、新年度の学校徴収金等運営協議会へ状況を報告する。</p> <p>私費会計に係る通知を出すに当たっては、複数でチェックを行う。特に、同姓の生徒がいる場合には注意する。</p> <p>備品台帳は、紛失・破損等がないように点検を行う。</p> <p>現金をできるかぎり扱わないことを徹底するとともに、万が一現金を扱う場合には適正な管理を徹底する。</p> <p>全職員を対象とした研修会を平成29年4月、10月に実施し、適正な会計処理について徹底を図る。</p>	<p>体育祭、文化祭に係る会計については、改善を図り、速やかに会計処理を行うことができた。</p>
8	適正な業務執行体制の確立	<p>職員全員が各自の責任を自覚して職務を遂行するとともに、業務を組織として計画的に執行するための体制づくりを行い、複数で確認することにより、事故・不祥事を未然に防ぐ。</p>	<p>朝の打合せ、事故防止会議、研修等で、新聞記事及び不祥事防止職員啓発資料を活用し、個人情報の登録・持ち出し、USB貸出しに係る手続きと情報管理について周知し、個人情報管理簿等により徹底を図った。</p> <p>校長、副校長が朝の打ち合わせ及び事故防止会議で、注意を喚起した。</p> <p>職員及び部活動インストラクターの不適切な携帯電話・電子メールの使用についても注意を喚起し、所定の手続き及びパスワード設定を徹底した。</p>
9	入学者選抜に係る事故防止	<p>入学者選抜業務マニュアルに従い、複数の職員で確実に業務・点検を行う。</p> <p>全職員を対象とした研修会を平成29年12月、平成30年1月に実施し、適正な入学者選抜実施に向けて徹底を図る。</p>	<p>入学者選抜業務について、選抜業務マニュアルに基づいて、副校長・入選総務が平成30年1月、2月に事故防止研修及び担当者打合せを実施し、新入学者選抜に係る共通理解を図り、厳正に実施することができた。</p>
10	構内施設・設備の安全管理と緊急時の迅速な対応	<p>校内施設・設備の安全管理を徹底し、緊急時を想定した対応を確認する。</p> <p>帰宅する際には戸締り、消灯、火の始末等を常に確認し、施設・設備の定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図る。</p>	<p>定期的に点検を実施し、安全管理の徹底を図った。</p> <p>エアコンについて、副校長が職員会議で周知し、全職員で協力して電力削減に取り組み、節減した経費を更なる省エネと教育環境整備に当てることができた。</p>

平成29年度 神奈川県立大和西高等学校 不祥事ゼロプログラム 検証結果

			・消灯、鍵の管理は充分とは言えないので、今後も各教室の管理者に注意を喚起していく。
--	--	--	-------------------------------------------

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

平成29年度大和西高等学校不祥事ゼロプログラムの検証の結果、すべての取り組み課題において、不祥事ゼロを達成できた。この検証結果を本校ホームページで公表する。また、平成30年度も引き続き平成29年度と同様の取り組むべき課題、目標、行動計画により不祥事ゼロの継続に邁進し取り組んでいく。